

令和7年  
2025年

3月10日  
月曜日

第11667号

# 食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日  
第三種郵便物認可

購読料 (前納)  
年間 82,080円  
(税込み)  
6か月 42,120円  
(税込み)

本紙は関連企業・団体との  
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社  
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社  
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10  
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社  
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48  
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局  
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-1-2  
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



全肉連・島根肉連主催の神戸枝肉販売会、6年度6回目を開催……P6

- ▶ [全国の食肉推定在庫・1月] 全在庫は前年同月比7・5%増 …… P 2
- ▶ パルシステム千葉が「産直ランチサミット」生産者と組合員など約260人が参加 …… P3
- ▶ 日本食肉流通センターがコマーシャル規格書と動画を刷新 …… P 3
- ▶ [牛肉需給動向・1月] 推定出回り量は前年比3・7%減 …… P 4
- ▶ 神戸食肉青年会が月例会、「食肉業界繁盛店のご紹介」のテーマで講演聴講 …… P4~5
- ▶ [豚肉需給動向・1月] 推定出回り量は前年同月比3・2%増 …… P 5
- ▶ [訃報] 猪口由美氏 (食肉科学技術研究所専務理事) …… P 5
- ▶ 全肉連・島根肉連主催の神戸枝肉販売会、6年度6回目を開催 …… P 6
- ▶ 第49回やまぐち和牛共励会が大阪南港市場で開催、エスフーズが最優秀賞牛を購入 …… P6
- ▶ USMEFがメンバー企業6社とSMTS出展し、アメリカンBBQなど訴求、4月からはアメリカンビーフ、ポークともに春のキャンペーン開始 …… P6~7
- ▶ 【東京食肉卸売市場】牛・豚ともにもちあい…P8
- ▶ 【大阪市食肉卸売市場】牛は需要が高まる、豚当面はもちあい推移 …… P 8
- ▶ 俺のフレンチの姉妹店「俺の焼肉」博多駅前にオープン …… P 8
- ▶ [資料] 2025年食肉産業展セミナー案内 …… P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数] 7日 …… P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場] 7日 …… P11

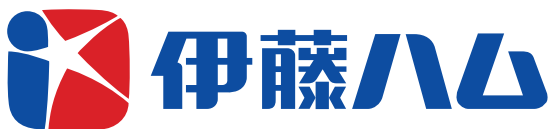
## 注目のヘッドライン

【全国の食肉推定在庫・1月】全在庫は  
前年同月比7・5%増

…詳細はP2

食肉産業展が3月11日開幕、来場受付中

第49回食肉産業展2025が3月11日から14日までの4日間にわたって、東京ビッグサイト(東7ホール)にて開催されます。来場には事前登録が必要です。QRコードから来場受付フォームに入力をお願いいたします。皆様のご来場をお待ちしております。



第49回 **2025食肉産業展**  
2025 Japan Meat Industry Fair 49th.

開催テーマ **肉のサステナビリティとイノベーション** フードテック ジャパン2025 同時開催

2025年 **3月11日(火) → 14日(金)**

於: **東京ビッグサイト** 東7ホール  
主催 ©食肉産業展実行委員会  
後援 ©農林水産省、厚生労働省ほか

食肉産業展事務局  
株式会社食肉通信社 ☎03-3663-2011  
食肉産業展HP <https://www.shokuniku-sangyoten.jp>

**【全国の食肉推定在庫・1月】 全在庫は前年同月比7・5%増**

農畜産業振興機構が公表した1月分の食肉等の推定月末在庫によると、全在庫は58万1567t(前年同月比7・5%増)と前年同月を上回り、前月比でも1・7%の増加となった。

畜種別では牛肉の輸入在庫が12万6100t(3・2%増)となり、前月からは2・9%減。国産在庫は1万131t(12・8%減)となり、前月比でも5・3%減となった。牛肉全体の推定在庫は13万6231t(1・8%増)となり、前月比では3・0%減となった。

豚肉は輸入在庫が19万508t(10・0%増)と前年

同月から大きく増加。前月比でも2・6%増となった。一方、国産在庫は2万3536t(13・0%増)と前年同月を上回り、前月比でも4・8%増となった。豚肉全体の推定在庫は21万4044t(10・3%増)となり、前月比でも2・8%増となった。

また、鶏肉の輸入在庫は13万9154t(10・5%増)と大幅に増加し、前月比では3・1%増。国産在庫は2万6258t(15・7%減)となり、前月からは11・2%減となった。鶏肉全体の推定在庫は16万5412t(5・3%増)となり、前月からも微増となっている。

[2025年1月の食肉の推定在庫]

単位:トン、比率%

区分		8月	9月	10月	11月	12月	2025年1月	対前月比	対前年比	
牛 肉	全在庫	179,485	180,245	175,733	167,008	156,538	157,510	100.6	103.9	
	冷凍品	161,482	161,887	159,146	150,025	140,233	141,564	100.9	107.0	
	冷蔵品	18,003	18,358	16,587	16,983	16,305	15,946	97.8	82.5	
	未通関計	21,231	24,397	19,425	19,350	16,043	21,279	132.6	120.0	
	推定期末在庫	158,254	155,848	156,308	147,658	140,495	136,231	97.0	101.8	
	冷凍品	140,436	138,274	139,870	130,952	124,437	120,313	96.7	104.6	
	冷蔵品	17,818	17,574	16,438	16,706	16,058	15,918	99.1	84.4	
	内 訳	輸入在庫計	147,288	144,550	145,078	136,791	129,801	126,100	97.1	103.2
		冷凍品	130,560	128,182	129,844	121,318	114,974	111,234	96.7	106.7
		冷蔵品	16,728	16,368	15,234	15,473	14,827	14,866	100.3	82.6
		国産在庫計	10,966	11,298	11,230	10,867	10,694	10,131	94.7	87.2
		冷凍品	9,876	10,092	10,026	9,634	9,463	9,079	95.9	84.3
		冷蔵品	1,090	1,206	1,204	1,233	1,231	1,052	85.5	124.3
	豚 肉	全在庫	235,901	238,323	240,303	230,632	220,553	228,090	103.4	111.9
冷凍品		222,393	223,324	224,376	216,852	205,762	212,734	103.4	112.1	
冷蔵品		13,508	14,999	15,927	13,780	14,791	15,356	103.8	109.0	
未通関計		13,503	15,546	16,997	14,446	12,359	14,046	113.6	142.7	
推定期末在庫		222,398	222,777	223,306	216,186	208,194	214,044	102.8	110.3	
冷凍品		209,150	208,521	207,714	202,660	193,617	198,982	102.8	110.4	
冷蔵品		13,248	14,256	15,592	13,526	14,577	15,062	103.3	108.8	
内 訳		輸入在庫計	200,290	201,197	201,922	194,797	185,736	190,508	102.6	110.0
		冷凍品	187,331	187,468	186,835	181,727	171,973	175,901	102.3	110.0
		冷蔵品	12,959	13,729	15,087	13,070	13,763	14,607	106.1	109.9
		国産在庫計	22,108	21,580	21,384	21,389	22,458	23,536	104.8	113.0
		冷凍品	21,819	21,053	20,879	20,933	21,644	23,081	106.6	113.8
		冷蔵品	289	527	505	456	814	455	55.9	82.9
鶏 肉		全在庫	178,831	176,434	180,983	178,308	171,211	172,714	100.9	105.9
	未通関計	5,796	6,762	7,669	8,205	6,706	7,302	108.9	119.4	
	推定期末在庫	173,035	169,672	173,314	170,103	164,505	165,412	100.6	105.3	
	内 訳	輸入在庫計	137,941	136,518	141,112	139,323	134,940	139,154	103.1	110.5
		国産在庫計	35,094	33,154	32,202	30,780	29,565	26,258	88.8	84.3
羊 肉	全在庫	5,100	4,823	4,615	4,098	3,563	3,396	95.3	96.6	
	未通関計	373	402	320	311	327	258	78.9	678.9	
	推定期末在庫	4,727	4,421	4,295	3,787	3,236	3,138	97.0	90.3	
	内 訳	輸入在庫計	4,573	4,288	4,165	3,669	3,122	3,032	97.1	91.7
		国産在庫計	154	133	130	118	114	106	93.0	62.0
そ の 他	全在庫	20,456	20,614	21,408	21,445	20,195	19,857	98.3	104.1	
	未通関計	420	554	1,064	484	628	899	143.2	122.6	
	推定期末在庫	20,036	20,060	20,344	20,961	19,567	18,958	96.9	103.4	

## パルシステム千葉が「産直ランチサミット」 生産者と組合員など約260人が参加

生協協同組合パルシステム千葉は6日、生産者と消費者、生協職員約260人による交流会「産直ランチサミット」を開催した。交流会は、「第36回パルシステム生産者・消費者協議会ランチサミット～県別交流会in柏～」と題し、青果や米、肉、卵の生産者たちが集い、パルシステムの利用者や職員の声を直接きき、互いへの理解を深めることを目的としたもので、今回で36回目の開催となる。畜産関係では、首都圏とん豚協議会、ポークランドグループ、までっこチキン生産者連絡協議会、(株)米沢郷牧場などが参加した。

冒頭、生協協同組合パルシステム千葉の高橋由美子理事長は「パルシステムは産直のトップランナーであるという思いで、さまざまな取り組みを進めてきた。一方、ここ数年で生産現場や、消費者の生活スタイルや価値観などが大きく変化している。特に、気候変動や自然災害など、世界情勢は厳しいものになっている。こうした問題を解決するためにチャレンジしている生産者、まさにトップランナーの皆さんがこの場に集まっている。パルシステムの取り組みを知っていただき、また利用していただくことで、社会に伝えることにつながり、食料安全保障への関心が広がっていくと思っている」と述べた。

続いて、生産者を代表して(株)花兄園の大須賀裕取締役は「物とお金のやり取りだけでなく、生産者や組合員の顔に思いをはせる、それがパルシステム。会を通して、次に商品が届くのが楽しみだと思える、また、



生産者も日々の励みになる場になってほしい」とあいさつした。

その後、生産者講演やテーブルトークなどが行われ、昼食時には、パルシステム食材を使った「産直こだわりランチ」を参加者全員に提供。おいしい食事を囲み、親睦を深めた。

交流会に参加した生産者からは「利用者の生の声をきくことができ、非常に貴重な機会となった」「生産者側の思いを知ってもらい、理解を深めることで、農業の未来が明るくなるとうれしい」「鳥インフルエンザなどの問題について、生産現場だけでなく、消費者もいろいろと気にしていただいていることを知れて、励みになった」などの意見が上がった。



## 日本食肉流通センターが商業規格書と動画を刷新

日本食肉流通センターは6日、同センター策定の商業規格書および動画を刷新、動画をホームページに公開したと発表した。センターが規格書を策定してから20年以上が経過していることから、時代の変化に合わせた内容に2年間をかけリニューアルした。

規格数に変更はないが、全国食肉学校がカット工

程を監修。動画では、講師の卓越したカット技術を、明るく細部まできれいな画像でみることができる。また、規格書は3月末頃の発刊を予定。体系的に分かりやすく解説しており、規格書の各部位のカット工程動画は、QRコードから即視聴可能。動画と規格書が連動しており、より分かりやすくなっている。

## [牛肉需給動向・1月] 推定出回り量は前年比3・7%減

農畜産業振興機構が発表した1月分の牛肉需給動向によると、推定出回り量は6万3473t(前年同月比3・7%減)と前年同月を下回った。このうち国産品は2万7231t(1・7%減)、輸入品は3万6242t(5・2%減)となった。

国内生産量は2万7305t(前年同月並み)だった一方、輸入量は3万2541t(24・8%減)と大幅に減少した。これにより、推定期末在庫は国産品が1万131t(12・8%減)、輸入品が12万6100t(3・2%増)で合計13万6231t(1・8%増)となった。

[牛肉需給]

単位:トン、%

年月	生産量	輸入量	推定期末在庫		推定出回り量	
			輸入物	国産物	輸入物	国産物
4年 10	28,863 (101.0)	48,609 (88.1)	151,851 (114.2)	13,096 (89.6)	48,964 (96.5)	28,569 (103.5)
11	35,525 (104.0)	39,413 (92.4)	150,014 (118.9)	12,699 (89.7)	41,250 (83.5)	35,235 (104.2)
12	31,727 (101.2)	37,456 (82.0)	142,876 (118.7)	12,690 (93.9)	44,594 (86.6)	30,858 (99.3)
5年 1	26,660 (103.5)	39,915 (98.8)	143,273 (118.1)	11,956 (90.5)	39,518 (100.1)	26,963 (105.4)
2	26,497 (107.4)	37,987 (100.6)	142,589 (119.4)	12,345 (87.7)	38,671 (97.5)	25,467 (109.1)
3	29,499 (103.4)	36,768 (108.4)	137,128 (119.6)	12,596 (95.6)	42,229 (109.2)	28,484 (98.8)
4	30,207 (101.6)	67,921 (110.4)	147,784 (129.4)	12,371 (104.8)	57,265 (92.4)	29,694 (97.1)
5	27,295 (102.1)	46,459 (101.5)	148,317 (125.4)	12,252 (97.8)	45,926 (110.3)	26,851 (105.4)
6	28,418 (102.7)	43,663 (75.7)	148,065 (114.2)	12,243 (95.5)	43,915 (94.7)	27,806 (103.5)
7	30,671 (102.0)	38,693 (74.4)	146,616 (106.7)	12,474 (94.1)	40,142 (90.7)	29,809 (102.8)
8	26,782 (101.0)	45,668 (85.4)	148,038 (101.0)	12,343 (93.2)	44,246 (100.1)	26,275 (101.5)
9	28,100 (100.0)	37,023 (71.3)	143,424 (94.2)	12,902 (94.6)	41,637 (89.8)	26,739 (99.0)
10	30,422 (105.4)	40,334 (83.0)	137,851 (90.8)	13,026 (99.5)	45,907 (93.8)	29,462 (103.1)
11	35,030 (98.6)	33,409 (84.8)	125,976 (84.0)	12,805 (100.8)	45,284 (109.8)	34,409 (97.7)
12	31,557 (99.5)	36,092 (96.4)	117,207 (82.0)	12,619 (99.4)	44,861 (100.6)	30,833 (99.9)
6年 1	27,314 (102.5)	43,264 (108.4)	122,238 (85.3)	11,618 (97.2)	38,233 (96.7)	27,712 (102.8)
2	26,904 (101.5)	31,010 (81.6)	117,666 (82.5)	11,442 (92.7)	35,582 (92.0)	26,385 (103.6)
3	28,696 (97.3)	38,362 (104.3)	111,229 (81.1)	13,108 (104.1)	44,799 (106.1)	26,259 (92.2)
4	31,124 (103.0)	63,202 (93.1)	124,210 (84.0)	11,835 (95.7)	50,221 (87.7)	31,618 (106.1)
5	28,270 (103.6)	48,512 (104.4)	128,998 (87.0)	12,269 (100.1)	43,724 (95.2)	27,283 (101.6)
6	27,418 (96.5)	47,574 (109.0)	135,344 (91.4)	11,885 (97.1)	41,228 (93.9)	27,030 (97.2)
7	32,089 (104.6)	49,342 (127.5)	140,727 (96.0)	11,271 (90.4)	43,959 (109.5)	31,959 (107.2)
8	25,885 (96.6)	48,897 (107.1)	147,288 (99.5)	10,966 (88.8)	42,336 (95.7)	25,425 (96.8)
9	28,276 (100.6)	38,168 (103.1)	144,550 (100.8)	11,298 (87.6)	40,906 (98.2)	27,023 (101.0)
10	31,210 (102.6)	43,933 (108.9)	145,078 (105.2)	11,230 (86.2)	43,405 (94.6)	30,469 (103.4)
11	34,984 (99.9)	34,574 (103.5)	136,791 (108.6)	10,867 (84.9)	42,861 (94.6)	34,417 (100.0)
12	32,225 (102.1)	39,209 (108.6)	129,801 (110.7)	10,694 (84.7)	46,199 (103.0)	30,631 (99.3)
7年 1	27,305 (100.0)	32,541 (75.2)	126,100 (103.2)	10,131 (87.2)	36,242 (94.8)	27,231 (98.3)

## 神戸食肉青年会が月例会、「食肉業界繁盛店のご紹介」のテーマで講演聴講

神戸食肉青年会(岸本七江会長)は4日、神戸市中央区の中央区文化センターで3月度月例会を開催。(株)食肉通信社編集部の黒田亮部長を講師に迎え、「食肉業界繁盛店のご紹介」のテーマで講演を聴講した。冒頭、岸本会長は「昨年はプラントベースミートについて研修を行ったが、本日は食肉専門店の経営や販売方法、業界の動向などについて学びたい。各地域で取材を行ってきた講師の体験などを交えながら話していただければ」などとあいさつ。

黒田講師は10年以内に自身が取材を行った店舗から10社を抜粋。地元・神戸や青年会の会員が見学



を行った可能性がある店舗を除いた店舗の資料を用意した。地域やジャンルはなるべく幅広くそろえ、それ

ぞれの取材で知ったことや、その中から学んだことなどについて話を進め、多くの参加者が関心を持てるよう努めた。

講演後の質疑応答では参加者それぞれが興味を持った点が異なり、互いに情報を交換。繁盛店の紹

介というテーマに促われず、集客や販促、商品化、輸出などの取り組みについても意見を交わした。最後に伊藤ハム神戸青年経営研究会の池尾昌明会長が閉会のあいさつを行い、月例会を終了した。

## 【豚肉需給動向・1月】 推定出回り量は前年同月比3・2%増

農畜産業振興機構が発表した1月分の豚肉需給動向によると、推定出回り量は15万4479t(前年同月比3・2%増)となった。このうち国産品は7万8746t(2・5%減)と減少した一方、輸入品は7万5733t(9・8%増)と増加した。

また、国内生産量は7万9908t(0・5%減)と減少したのに対し、輸入量は8万505t(11・8%増)と増加した。これにより、推定期末在庫は国産品が2万3536t(13・0%増)、輸入品が19万508t(10・0%増)で合計21万4044t(10・3%増)となった。

[豚肉需給]

単位:トン、%

年月	生産量	輸入量	推定期末在庫		推定出回り量	
			輸入物	国産物	輸入物	国産物
4年 10	75,549( 98.2)	75,744( 97.3)	196,107(121.5)	19,698( 92.2)	84,109(102.7)	75,135( 97.2)
	81,110( 98.6)	87,886(112.0)	195,556(126.4)	18,751( 86.8)	88,437(103.9)	81,919(100.0)
	79,677( 97.0)	68,853( 92.5)	185,413(127.3)	19,816( 86.5)	78,996( 94.6)	78,456( 97.3)
5年 1	77,322( 97.2)	74,837( 90.7)	188,666(122.5)	18,538( 79.8)	71,584( 96.5)	78,645( 99.4)
	72,986( 98.9)	71,250( 99.2)	189,121(121.2)	19,905( 85.9)	70,795(101.4)	71,512( 97.1)
	81,689( 98.3)	69,027( 96.1)	189,572(121.4)	20,232( 84.3)	68,576( 95.5)	81,215( 98.8)
	73,794( 96.8)	109,570(100.7)	204,045(120.0)	20,573( 92.5)	95,097(100.2)	73,311( 94.2)
	76,116(105.0)	89,729(115.9)	223,902(126.5)	20,193( 90.0)	69,872( 99.2)	76,372(105.8)
	73,486(100.4)	81,311( 91.1)	225,208(117.1)	19,586( 92.6)	80,005(108.2)	73,928( 99.4)
	68,264(101.2)	74,831( 90.1)	220,067(110.0)	20,758( 97.7)	79,972(106.3)	66,926( 99.6)
	70,175( 99.5)	73,862( 85.4)	217,704(104.7)	21,032(103.3)	76,225( 97.0)	69,796( 97.8)
	69,500( 95.5)	61,727( 85.1)	203,477( 99.5)	21,452(110.7)	75,954( 99.9)	68,945( 93.6)
	78,467(103.9)	70,100( 92.5)	192,812( 98.3)	19,689(100.0)	80,765( 96.0)	80,065(106.6)
	82,650(101.9)	74,813( 85.1)	184,253( 94.2)	20,154(107.5)	83,372( 94.3)	82,084(100.2)
	81,152(101.9)	67,663( 98.3)	170,120( 91.8)	21,381(107.9)	81,796(103.5)	79,774(101.7)
6年 1	80,283(103.7)	72,027( 96.2)	173,172( 91.8)	20,836(112.4)	68,975( 96.4)	80,748(102.7)
	77,558(106.3)	64,527( 90.6)	165,686( 87.6)	21,439(107.7)	72,013(101.7)	76,853(107.5)
	77,333( 94.7)	74,351(107.7)	166,119( 87.6)	23,117(114.3)	73,918(107.8)	75,518( 93.0)
	78,976(107.0)	98,780( 90.2)	174,059( 85.3)	22,670(110.2)	90,840( 95.5)	79,317(108.2)
	76,183(100.1)	94,087(104.9)	189,925( 84.8)	24,239(120.0)	78,221(111.9)	74,520( 97.6)
	66,310( 90.2)	81,660(100.4)	193,156( 85.8)	24,750(126.4)	78,429( 98.0)	65,692( 88.9)
	71,679(105.0)	86,155(115.1)	195,529( 88.8)	23,227(111.9)	83,782(104.8)	73,101(109.2)
	65,651( 93.6)	84,078(113.8)	200,290( 92.0)	22,108(105.1)	79,317(104.1)	66,675( 95.5)
	68,773( 99.0)	78,666(127.4)	201,197( 98.9)	21,580(100.6)	77,759(102.4)	69,219(100.4)
	79,625(101.5)	86,742(123.7)	201,922(104.7)	21,384(108.6)	86,017(106.5)	79,699( 99.5)
	78,361( 94.8)	78,216(104.5)	194,797(105.7)	21,389(106.1)	85,341(102.4)	78,249( 95.3)
	80,661( 99.4)	76,518(113.1)	185,736(109.2)	22,458(105.0)	85,579(104.6)	79,425( 99.6)
7年 1	79,908( 99.5)	80,505(111.8)	190,508(110.0)	23,536(113.0)	75,733(109.8)	78,746( 97.5)

## 【訃報】 猪口由美氏(食肉科学技術研究所専務理事)

猪口 由美氏(いのぐち・ゆみ=一般社)食肉科学技術研究所専務理事、公益財団法人日本食肉流通セン

ター理事) 病氣療養中のところ、2日死去。享年64歳。葬儀は家族葬で執り行われた。

## 全肉連・島根肉連主催の神戸枝肉販売会、6年度6回目を開催

オレイン酸値などに早くから着目し、高品質和牛の生産に取り組んでいる島根県産和牛「しまね和牛」を産地から消費地で販売する、令和6年度食肉流通経営体質強化促進事業(生産者等との連携推進事業)第6回島根県開催枝肉販売会が6日、神戸市西区の(株)本神戸肉森谷商店センターで開催された。主催が全国食肉事業協同組合連合会、島根県食肉事業協同組合連合会。協賛が島根県農業協同組合。

今回はしまね和牛の雌7頭、去勢13頭の20頭が出品され、兵庫県に事業所を持つ食肉販売事業者が購買し、完売した。出品牛の内訳は、A5等級13頭、A4等級6頭、B3等級1頭だった。

なお、同事業の開始初期から携わってきたJAしま

ねの伊藤満男氏(写真中央)が今回を以て退職。同事業のほか、しまね和牛の知名度・販路拡大に尽力した伊藤氏は、参加者からねぎらいの言葉をかけられ見送られた。



## 第49回やまぐち和牛共励会が大坂南港市場で開催 エスフーズが最優秀賞牛を購入

山口県農業協同組合が主催する第49回JAやまぐち和牛共励会が6日、大阪市中央卸売市場南港市場で開催された。黒毛和牛34頭が出品され、厳正な審査の結果、最優秀賞には(有)岩国ファームが生産する黒毛和牛を選出、エスフーズ(株)が購買した。

同共励会は、やまぐち和牛の市場価値向上を目的に実施しているもので今回が49回目の開催となる。今年も域内から集荷された黒毛和牛34頭のうち、30頭がA5等級に格付され、全頭のBMSの平均値は10・9と、いずれ劣らぬ上質な枝肉がそろった。

その中で、最優秀賞に輝いた去勢牛の枝肉は、父「福之姫」の血統で枝肉重量656・0kg。ロース芯面積100cm<sup>2</sup>、バラ厚10・5cmで、A5等級、BMS No. 12に格付され、枝肉競りでは、エスフーズがこの日の

最高値となる単価3838円で買い受けた。また、入賞牛以外にも総じて高値で取引され、厳しい事業環境の中、生産者を盛り立てようと買参者の活発な購買が相次ぎ、盛会となった。

最優秀賞以外の入賞牛の結果(価格、購買者)は以下のとおり。▽優秀賞 吉富貴博(2801円、殖生ミートパッカー(株))、(有)三宅牧場(3190円、エスフーズ)



## USMEFがメンバー企業6社とSMTS出展し、アメリカンBBQなど訴求 4月からはアメリカンビーフ、ポークともに春のキャンペーン開始

米国食肉輸出連合会(USMEF)はこのほど、幕張メッセ(千葉市美浜区)で開催された「スーパーマーケット・トレードショー2025」にメンバー企業6

社と共に出展。USMEFブースでは、アメリカンビーフ・ポークの需要拡大に向けた2025年の活動方針を紹介し、販促提案を行った。USMEFでは今年、ア

アメリカンBBQの提案に注力。今回の試食では、アメリカンビーフは「ブリスケット(アメリカンBBQ風)」「ボンレスショートトリブ(焼き肉)」を、ポークでは「ボストンバットバーガー(BBB)」や「ロースかぶり 角煮まん」を提供したほか、各種パンフレット・ガイドブックなども配布した。また、パッカーブースにはJones Daily Farm、TREX CORP Inc.、N.P.B.Japan Inc.、Certified Angus Beef、Creekstone Farms Premium Beef LLC、Freshmark/Sugardaleの6社が共同出展した。

笠谷樹マーケティングディレクターは「今回、ビーフではブリスケットやボンレスショートトリブ、ポークではスペアリブやプルドポークを訴求した。ブリスケットについては、例えばスーパーなどの精肉売り場においておなじみの商品というわけではないが、アメリカンビーフにはこうしたアイテムもあることを紹介し、付加価値の高いアイテムとして小売に加えて中食、外食などに向けても提案を強化していく。ポークでは、ボストンバットを使用したハンバーガー“BBB”を訴求している。バーガーパテといえ、ビーフのイメージが強いが、ポークを使用しながら本格的なバーガーとなっており、これも付加価値を高めた提案として行っている」と説明した。

なお、USMEFでは、アメリカンビーフ「2025春の店頭キャンペーン」を4月1日～6月30日に実施。春から夏にかけて、行楽シーズン・大型連休などでの販売拡大、さらに平時の需要喚起策として、消費者プレゼントキャンペーンを展開する。今年は「買って当たる!!アメリカンビーフキャンペーン」として、抽選で1600人に賞品をプレゼント。キャンペーン用トレーパックシール(2層式)の内部に記載のシリアルナンバーを、2次元コードで遷移した先の応募用ウェブサイトに入力すると、その場で当落が分かる。賞品は、A賞「アメリカンビーフ(プライム)カタロースステーキ用(総量約600g)」=300人、B賞「アメリカンビーフ(プライム)使用 プルコギ焼き肉用(味付き、300g×2袋)」=300人、C賞「アメリカンビーフ オリジナルトートバッグ」(1千人)。また、キャンペーン告知資材として「キャンペーンシール」のほか「キャンペーン告知POPセット」(B5POP・棚帯POP、1千セット限定)も作成し、無償で提供する。キャンペー



の問い合わせはビーフ担当:笠谷氏 (tkasatani@usmef.org) まで。

また、「アメリカンポーク2025年春 店頭キャンペーン」を4月1日～7月31日に実施。24年はアメリカンポークのマストバイキャンペーンとして春、夏、秋冬の計3回実施し、累計33万件以上の応募数を獲得。今年は開催期間と当選者数を拡大する。キャンペーンシールが貼付されたアメリカンポークを購入すると、抽選で「アメリカンポーク ロース&カタロース詰め合わせ(1kg)」(555人)が当たるほか、Wチャンス賞として、「アメリカンポーク オリジナルグッズ」(5千人)、合計5555人に商品を提供する大型キャンペーンだ。キャンペーン用トレーパックシール(2層式)の内部に記載のシリアルナンバーを、2次元コードで遷移した先の応募用ウェブサイトに入力すると、その場で当落が分かる。USMEFでは、キャンペーン告知資材として「キャンペーン用トレーパックシール」(サイズ:W65×H43mm)を参加希望企業に提供する。また、「キャンペーン告知POP」(サイズ:B5)、「キャンペーン告知棚帯」(サイズ:60×300mm)については、USMEFのウェブサイトからダウンロード可能だ。キャンペーンの問い合わせはポーク担当:植村氏 (tuemura@usmef.org) まで。

## 【東京食肉卸売市場】牛・豚ともにもちあい

[牛] 前週は和牛、交雑牛ともに強もちあい。月初の補充買いもあり和牛5等級は2600円を超える日が続き、交雑牛も底堅い動きをみせた。

野菜の高止まりは続いているが、10度を下回る日が続いたこともあり鍋向け商材の動きは好調。切り落とし用のモモ、カタなどの手当て買いに加え、ヒレも動きが出てきたよう。乳牛の全国的な荷不足から、交雑牛のスソ物の引き合いは強く2等級は1400円台で推移している。学校が春休みに入ればもう少し落ち着くか。荷余りが続いているバラだが、春に向けて問い合わせも出てきたよう。

冷蔵庫工事も終わり、東京市場の上場は今週から平均430頭ほどが予定されている。和牛去勢A5は2600~2700円、A4は2300~2400円、A3が2100~2200円、交雑牛去勢はB4が1600~1700円、B3

が1550円前後のもちあい。

[豚] 前週の枝肉相場は多少の上げ下げはあるものの、上物価格はおおむね600円台前半の展開となった。需要の端境期であり、末端の荷動きは決して強いわけではない。ただ、一部では疾病や寒波による出荷への影響などもあり、出荷頭数自体は決して多くない。全国と畜頭数は6万頭台半ばから後半で推移している。

3月に入り、今後は気温も上昇し春らしい陽気となることが予想され、鍋物向けの動きが止まることに加え、春休みで学校給食向けの手当ても止まる。一方、卒業や歓送迎会、花見などのイベントシーズンであるため、焼き材などの荷動きは徐々に強まっていきそう。下旬から4月に向けては需要も高まっていくか。

今週も引き続き600円絡みのもちあい。

## 【大阪市食肉卸売市場】牛は需要が高まる、豚当面はもちあい推移

[牛] 3月に入り、仕入れが活発化してきた。和牛5等級も前週は高値で推移。和牛4等級については以前からの高値傾向が続いているほか、交雑牛の引き合いの強さも変わらない。

和牛5等級に関しては、同等級間でもかなりの価格差がみられるため、一本調子に上伸しているわけではないが、大阪・関西万博を含め、気候の良化とともに需要は高まっており、今週以降も好調を継続するだろ

う。このため和牛、交雑牛ともに強もちあい。

[豚] 曜日や上場されている枝肉の品質によって価格にかなりのバラツキがみられているが、総じて高値となっている。ただ、2月後半頃に比べると少し落ちてきており、今週~来週あたりは現状の価格帯にとどまりそう。その後は需要期に入ることから、上伸も予測される。

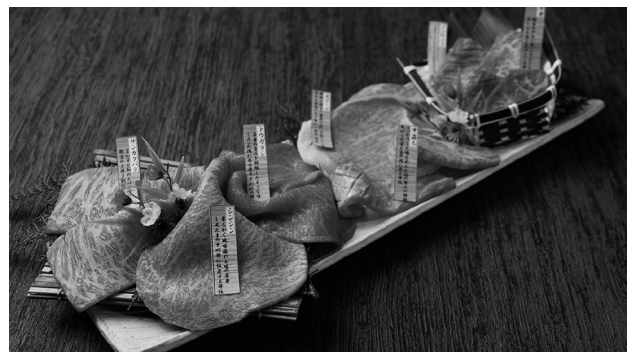
## 俺のフレンチの姉妹店「俺の焼肉」博多駅前にオープン

俺の(株)(東京都中央区、立石寿雄社長)は15日、「俺の焼肉 博多」を福岡・博多にオープンする。

博多駅筑紫口から徒歩3分の同店は、A5ランクの黒毛和牛を一頭買いで提供。「特選!黒毛和牛7種類盛り合わせ」(写真、税込み4378円)「売切御免!黒毛和牛5種類盛り合わせ」(7678円)など、一頭買いだからできる高品質な盛り合わせがお勧め。

また、牛肉だけでなく、豚・鶏・海鮮・サラダなど、箸休めの料理でも満足できる単品商品も用意してい

る。



第49回  
**2025食肉産業展**  
2025 Japan Meat Industry Fair 49th.



**食肉情報セミナー**

会期◎2025年  
3月11日(火)→14日(金)

**受講申込受付中!**

会場◎東京ビッグサイト

(東京都江東区有明3-11-1)  
アクセス:ゆりかもめ・東京ビッグサイト駅(徒歩約3分)りんかい線・国際展示場駅(約7分)

食肉業界唯一・最大のイベント「第49回食肉産業展2025」が3月11日から14日までの4日間、東京ビッグサイトで開催されます。49回目となる本展示会の主催者企画では、食肉に関する様々なテーマで食肉情報セミナーを開催します。ぜひ受講をお申し込みください。

■ **食肉情報セミナー** (受講料無料・各先着 30名) ※定員になり次第募集は終了

日時	会場	プログラム	
3月11日 11:00 } 11:40	国内出展者 セミナー会場 東1ホール	<b>牛肉、豚肉輸出の現状と各市場の動向について</b> 講師：農林水産省畜産局食肉鶏卵課食肉需給対策室課長補佐(食肉貿易班担当) 藤谷洋平	和牛をはじめとした国産食肉の輸出については、官民一体となったさまざまな取り組みもあり、着実に伸長しています。国産牛肉、豚肉の輸出の現状と世界各市場の動向について紹介します。
3月11日 15:00 } 15:40	国内出展者 セミナー会場 東1ホール	<b>畜産物の輸出促進について(牛肉を中心に)</b> 講師：一般社団法人日本畜産物輸出促進協会専務理事 川島俊郎	日本産畜産物のオールジャパンでのプロモーションや輸出に関する情報収集・提供を行う同協会の活動方針や取り組み、現在の輸出状況や今後の方向性などについて紹介します。
3月12日 11:00 } 11:40	国内出展者 セミナー会場 東1ホール	<b>物価上昇下の食肉販売の現状と物流 2024 問題への業界の取組を追う</b> 講師：公益財団法人日本食肉流通センター情報部 部長 安藤松太郎	食肉業界の販売動向や「物流の2024年問題」の対応状況について、食肉事業者に加えて、運送業者、大手食肉加工メーカーの物流担当者及び冷蔵倉庫業者へのきき取りを基に紹介します。
3月12日 15:00 } 15:40	国内出展者 セミナー会場 東1ホール	<b>ミートジャーナル特別企画 混迷する時代の明日のミートマーケットを読む</b> 講師：有限会社ブリッジインターナショナル代表 高橋 寛	月刊「ミートジャーナル」執筆中の著者による特別企画。穀物高、燃料高、為替、戦争、異常気象、疫病など、さまざまな問題を抱える食肉業界の近未来のマーケット動向を探ります。
3月13日 11:00 } 11:40	国内出展者 セミナー会場 東1ホール	<b>食肉産業の即戦力を育成する</b> 講師：公益社団法人全国食肉学校 学校長 小原和仁	自社が求める即戦力は、外部の経験者を求めてもその獲得は困難です。たとえ遠回りのように見えても、自社の社員を育成するのが結果的に早道になります。全国食肉学校は食肉産業が求める人材を育成します。
3月14日 11:00 } 11:40	国内出展者 セミナー会場 東1ホール	<b>細胞性食品の現状と今後の可能性について</b> 講師：細胞農業研究機構 代表理事 吉富愛望アビガイル	細胞農業領域のルール形成に特化した国内唯一の団体の代表理事が細胞性食品の現状や日本市場における今後の可能性などを探ります。

講師の都合により、講師変更および講演中止の可能性もございます。

**注※セミナーの受講は、事前に来場登録が必要です。**

登録後にFOODEXホームページの出展者セミナー申し込みフォーム  
([https://www.jma.or.jp/foodex/seminar/exhibitor\\_01.html](https://www.jma.or.jp/foodex/seminar/exhibitor_01.html))  
からお申し込み下さい。



お問い合わせ

**食肉産業展実行委員会事務局 TEL 03-6206-0929**

# 東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 3月7日  
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	3,105	2,499	2,264	-	-
		安値	2,237	2,111	2,011	-	-
		平均	2,570	2,301	2,184	-	-
	70頭	頭数	37	26	7	-	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	1,946	1,896	-	-
	2頭	頭数	-	1	1	-	-
	去 A	高値	3,497	2,501	2,267	-	-
		安値	2,237	2,121	2,160	-	-
		平均	2,619	2,343	2,216	-	-
	190頭	頭数	130	49	11	-	-
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
-頭	頭数	-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	平均	-	1,576	1,499	1,392	-
		15頭	頭数	-	1	7	7
	雌 C	平均	-	-	1,426	-	-
		1頭	頭数	-	-	1	-
	去 B	平均	-	1,632	1,568	1,414	-
		19頭	頭数	-	7	5	7
去 C	平均	-	-	-	1,404	-	
	2頭	頭数	-	-	-	2	-

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜	333	904	-	(競り)	(相対)	
売買	384	1,125	220.0	-	20	62

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,123	1,693	1,463	1,316	-
	B	1,462	1,466	1,369	1,229	-
和 去	A	2,481	1,741	1,793	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	940	880
	C	-	-	-	919	861
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	1,659	1,496	1,397	-
	C	-	-	-	1,297	756
交 去	B	-	1,629	1,324	1,377	-
	C	-	-	1,437	1,297	772

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	650	843	650	627	541
	安値	604	583	541	484	302
	平均	619	613	588	547	478
	頭数	( 10)	( 349)	( 470)	( 213)	( 83)
搬入競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)
搬入相対	高値	-	654	633	-	464
	安値	-	654	633	-	410
	平均	-	654	633	432	446
	頭数	( -)	( 4)	( 2)	( 1)	( 13)

[大阪食肉卸売市場] 3月7日  
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [ ]は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,616	2,352	-	-	-
(頭数)	( 8)	( 4)	( -)	( -)	( -)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)
和 去 A	2,776	2,201	-	-	-
(頭数)	( 12)	( 4)	( -)	( -)	( -)
B	-	2,068	-	-	-
(頭数)	( 1)	( 2)	( -)	( -)	( -)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,608	1,585	-	-
C	-	-	-	-	-
交雑去 B	-	1,664	1,543	1,452	-
C	-	-	1,520	-	-
豚	-	-	-	-	-

[全国と畜概算頭数]  
農水省統計部発表 (頭)

	3月7日	3月6日	(3月累計)
豚	64,900	67,000	331,400
成牛計	4,270	3,870	22,010
和牛雌	990	880	4,900
和牛去勢	870	1,030	6,060
乳牛雌	770	680	3,410
乳牛去勢	310	520	2,570
交雑雌	620	340	2,170
交雑去	690	420	2,800

[去勢牛B3・2規格 枝肉取引価格] 3月7日

	1,436円	(前日 1,457円)
東京		
	1,525円	(前日 1,426円)
大阪		

[豚・全農建値] 3月7日

上	中	取引頭数	市況
626円	604円	1,290頭	強もちあい

と畜	牛 37頭	豚 182頭	牛概況	もちあい
売買	牛 80頭	豚 50頭	豚概況	まぢまぢ

# 各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 3月7日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	616 (616)	- (-)	5,855	-	もちあい
仙台 [中]	545 (563)	506 (505)	458	157	続落
宇都宮 [地]	619 (596)	580 (564)	1,607	77	続伸
茨城 [地]	618 (626)	600 (603)	1,494	506	下落
群馬 [地]	626 (640)	520 (555)	1,936	406	反落
さいたま [中]	632 (632)	623 (603)	147	144	もちあい
東京 [中]	613 (609)	588 (583)	904	1,125	小戻し
横浜 [中]	633 (630)	602 (604)	642	645	もちあい
山梨 [地]	- (664)	- (589)	64	8	休市
浜松 [地]	593 (593)	548 (555)	396	40	もちあい
名古屋 [中]	614 (586)	548 (545)	881	237	急伸
京都 [中]	572 (576)	589 (574)	33	64	もちあい
大阪 [中]	- (550)	- (543)	182	50	まちまち
神戸 [中]	588 (658)	580 (642)	-	48	-
岡山 [地]	648 (651)	641 (639)	360	310	弱気配
広島 [中]	586 (-)	559 (-)	227	78	反発
福岡 [中]	580 (591)	551 (552)	578	182	反落

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 2月28日～3月6日  
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,728,904 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,090	1,182	1,265	1,173	80,827
うで	739	786	819	782	137,847
ロース	1,048	1,130	1,239	1,130	162,283
ばら	1,092	1,155	1,260	1,162	194,591
もも	752	778	810	775	228,689
ヒレ	1,076	1,151	1,188	1,139	19,186
セット	959	1,013	1,113	1,027	905,481

◇近畿圏 総重量 776,676 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,188	1,301	1,328	1,294	65,189
うで	702	745	767	740	130,977
ロース	1,080	1,219	1,268	1,197	98,764
ばら	1,188	1,264	1,301	1,257	137,229
もも	724	756	788	752	176,036
ヒレ	1,102	1,242	1,318	1,236	9,376
セット	908	972	1,032	975	159,105

[食鳥正肉日経相場] 3月6日  
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (7社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	690	739	868	150
ムネ	354	390	503	124

◇大阪 (3社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	697	745	1,030	8
ムネ	358	406	590	6

[農水省統計情報部食鳥市況] 3月6日  
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	1,009	611	550	600	650
安値	723	373	290	360	350
平均	768	409	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉に関する**最新**のニュースを、どこよりも**早く**お届け!

# 日刊食肉速報

## 大幅リニューアルしました!

A4版にリニューアルして更に見やすくなりました。

また、紙媒体だけでなく、新設されたWEBページでいつでも手軽に情報チェックが可能に。

食肉関連の行政、業界の動向をはじめ、国産と輸入の相場市況、企業情報など、

これからも鮮度の高い日々の業界ニュースをお届けいたします。

**紙媒体**

A4版に  
サイズUP!



購読料は  
そのまま!



**WEB  
サービス版**

手軽に情報チェック!  
バックナンバーも  
探しやすい!



\*写真はイメージです。

仕様 | 11ページ  
〈表紙〉カラー 〈中面〉モノクロ

発行 | 月曜から金曜(祝祭日を除く)

購読料 | 1カ年 82,080円(税・送料込)  
6カ月 42,120円(税・送料込)

## 食肉産業展開催記念キャンペーン

# 無料

## お試し購読

4月1日~15日の食肉速報WEB配信版を無料でお試し購読できます。  
PCやタブレット、スマホでいつでもどこでも気軽に読むことができます。  
また、お試し期間中はリニューアル後のバックナンバーも閲覧可能です。  
ぜひ、この機会にお試しください。

申込締切 **3月21日(金)まで**

QRコードからも  
お申込可能です

申込フォーム

<https://forms.gle/K24pjJLWvG1r4h9b8>



お問合せ

株式会社食肉通信社 大阪本社 06(6538)5505 東京支社 03(6206)0929

✉ [mail@shokuniku.co.jp](mailto:mail@shokuniku.co.jp) <https://www.shokuniku.co.jp>